

平成 22 年 11 月 18 日

使用済トナー・インクカートリッジ回収による 新たな環境保護に向けた取組み

第一生命保険株式会社（社長：渡邊 光一郎）は、業務上使用したトナー・カートリッジの 100%回収を目指すとともに、国内全ての事業所にて家庭用インク・カートリッジ回収活動を開始し、環境保護にむけた新たな取組みを推進します。

第一生命は、CSR経営の一環として、「環境基本方針」を制定するとともに、循環型社会の構築に資する取組みをこれまでも職員一体となり実施してきました。

平成 21 年度より、さらに省エネ・省資源取組みを推進するために全社横断的な『Eco ダイエット運動』を展開し、中長期にわたる継続的な環境取組みを強化しています。

- ◆当該取組みの一環として、業務上使用したトナー・カートリッジの 100%回収を目指すことを目的に、「トナーEco システム」(※1)を構築し運用を開始しました。本システムを活用して、全国約 1,400 事業所、約 6,400 台のプリンタで使用した業務用トナー・カートリッジの 100%回収を目指します。
- ◆平成 22 年 12 月より全事業所に家庭用インク・カートリッジ回収箱を設置し、約 60,000 名の職員及びお客さま等が家庭で使用されるインク・カートリッジの回収活動を開始します。
- ◆これら回収物は、再資源化し、トナー・インクカートリッジとして再生されます。

なお、平成 22 年 5 月より、キヤノンマーケティングジャパン株式会社（以下キヤノンMJ）主催の『未来につなぐふるさとプロジェクト（※2）』を通じて、森林保護や自然再生活動に取り組む環境保護団体に対し、使用済みトナー・カートリッジ回収本数に応じた寄付を行っています。

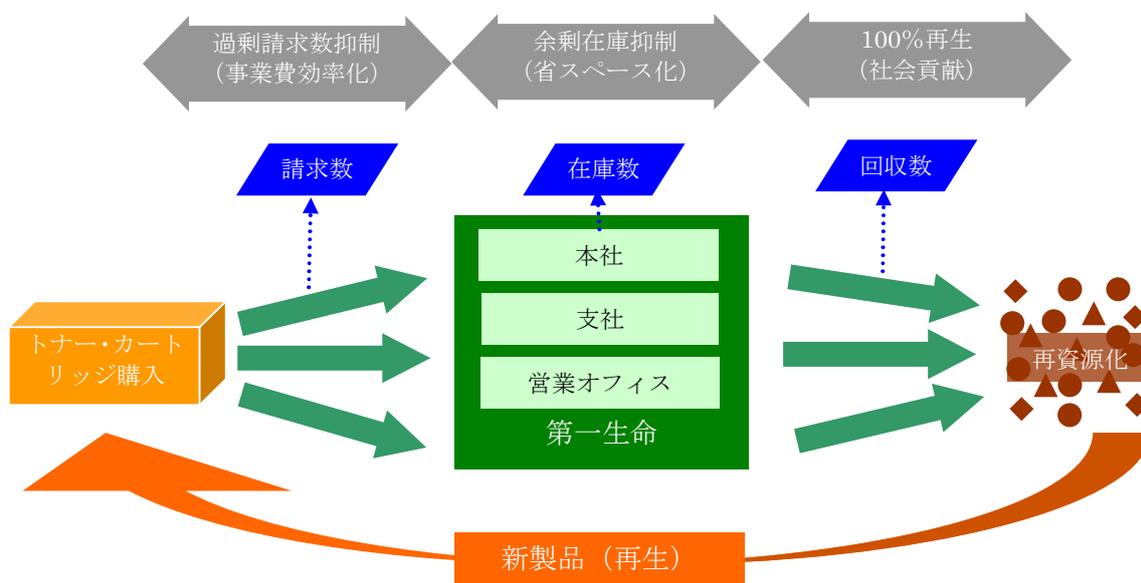
さらに寄付以外にも、職員の社会貢献活動の取組みの一つとして、本プロジェクトの連携パートナーである NPO 等との協働による森林保護や自然再生活動にも積極的に参加します。

引き続き、第一生命の事業活動を通じて、社会・経済の発展と地球環境との調和を目指しつつ「持続可能な社会作り」の実現に貢献するために、全社をあげて取組みを推進していきます。

以 上

(※1) トナーEco システム

第一生命では、循環型社会の構築に資する取組みとして、業務上使用したトナー・カートリッジの100%回収を目指し「トナーEco システム」を構築しました。当スキームにて、各事業所におけるトナー・カートリッジの請求数、在庫数、回収数等の数量が把握可能となり、各事業所単位での回収取組みを推進します。また、各数量の分析を行い、過剰請求・余剰在庫の抑制に取り組み、事業費効率化、省スペース化の取組みに繋がります。



(※2) 未来につなぐふるさとプロジェクト

キヤノンMJは、トナーカートリッジリサイクル20周年を機に、事業と連携した社会貢献活動「未来につなぐふるさとプロジェクト」を平成22年5月より開始しました。本プロジェクトは、子供たちの未来に美しく緑豊かな地球環境を残すことを目的としており、顧客やビジネスパートナーなどステークホルダーとともに、環境保全や自然再生の社会貢献プログラムを全国各地のNPO活動への参加を通じて実施するものです。詳細の運営は以下をご覧ください。



5/24 ニュースリリース <http://cweb.canon.jp/newsrelease/2010-05/pr-furusato.html>